

## ファール会のイベントの性格と参加の条件について

### 1. 参加資格

ファール会が主催募集する昆虫関係イベント(採集観察会、標本教室など)には、どなたでもご参加いただけます。ファール会の会員やファール会の中にある昆虫塾の会員でないと参加できないということは一切ありません。また、上記の会員だからといっても、何かが有利になったり参加が優先されたりということは一切ありません。また、上記の会員であっても、募集開始を個人にお知らせするようなサービスもしていません。すべての人が公平に扱われることがNPO法人の義務だからです。

### 2. 年齢制限・募集人員

イベントには参加年齢等の制限を設ける場合があります。これは、安全確保のためや子どもたちの能力や体力の発達状況を考慮し、イベントの進行をスムーズに運ぶために設けてあります。たとえば「うちの子は大丈夫だから」と言われても、対応はできません。もちろん個人差はあるものですが、前項に述べたとおり、公平な取り扱いをしなければならないからです。もちろん、これはファール会等の会員であるかないかともまったく関係なく適用されます。

また、募集人員は、採集会では安全確保やスタッフの指導でコントロールできること、自然への圧力が大きすぎないことを配慮し、また標本では教室の席数で、最大限度の設定をしています。

### 3. 申し込み方法

参加のお申込みは、HPの各イベントの案内詳細ページ(募集要項)のなかにある、「**応募方法**」の「**イベント申し込みフォーム**」から必要事項を登録し、送信することによって行ないます。

お申し込みが受け付けられると自動返信メールが

送信されます。(自動返信メールが届かない場合は入力メールアドレスの誤りかもしれませんので再度申し込んでください)

お申し込み内容を確認し、以下のような場合は別途個別にご連絡します。

- ・定員オーバー
- ・参加条件を満たしていない
- ・催行中止
- ・その他連絡が必要と判断した場合

「申し込みフォーム」は募集人員が埋まると、自動的に閉鎖され、申込みができなくなります。

この方法以外のお申込みは受け付けておりません。ファール会への電話やスタッフ(昆虫館スタッフを含む)に直接申し込んでも、対応しません。また、募集開始情報を事前に特定の人にお知らせすることもしません。これらの対応も、公平を期すためのものです。

### 4. 年齢制限の考え方

イベントの主要なものは、昆虫採集観察会と初級昆虫標本作成教室です。これは昆虫と科学的に対峙する手段を学ぶものです。一般的に小学校で理科がはじまるのは3年生になってからです。また採集となると、体力、注意力などの能力が要求されます。標本づくりでは、器用さや集中力、バランス感覚などの能力が必要になります。そういうものは小3に出来あがるのではなく、そのころになって発達しはじめるのです。

しかし、もっと下の年齢の子たちからの要望も強いようなので、保護者の協力補助をお願いすることと、高学年の子と成果に差が出ることを承知で参加して頂くことにしています。そこで上級生たちの行動を見て育つのも有効なことだと考えるからです。なお、具体的な制限は、行く場所や目的とするものの違いで、個々に検討して決めています。

#### 5. 採集観察会のあり方

昆虫採集観察会では、現地での注意事項を説明することと、初歩の子に虫の採り方（捕る、取り込む、持ち帰り方など）を教えますが、あとは自由行動になります。初心の子を優先させたり、特別に指導したりすることはしません。

また、予め獲物を用意しておいたり、確実に捕れる場所を確保しておいたりするようなことはしません。時期や天候などで大きな成果の差がでます。それが自然なので、自然のあるがままを学ぶ場でもあるのです。

#### 6. 科学的なことを学ぶとは

昆虫採集や標本づくりは、科学的なことを学ぶための手段と書きましたが、幼児～小4 くらいの関心事は、「虫取り」です。昆虫と特定するのではなく、虫です。それに触り遊ぶことが彼らの目的です。小2 くらいからは、科学的な関心も混ざっている状態になります。関心事が虫遊びなのに、科学を押し付けるのは、子どもの発達状況から言って、あまり感心したことではないと思われます。それが4 項の背景です。

「昆虫採取」という言葉を使う人がいます。それはいったい何を指した言葉でしょうか？上記の背景をよく理解していない人が、実際に知らないで使っているように思われます。

なお、この背景については、HP の「お知らせ」欄のなかに、「虫好きの子どもたちはどう育っていくか」という資料が紹介してあります。ご参考になるでしょう。ご一読ください。

#### 7. 年間計画など

先々の予定を知りたいとのご要望を頂きます。かつてそれに応えて公開したことがありました。

ところが、予想もしなかったトラブルも含め様々な問題が起こり、多くの方々にご迷惑をかけた。

採集観察会は自然相手のイベントです。季節の変化は毎年同じではなく、また災害も起きます。予定していた場所で工事が始まっていたり、立ち入り禁止になっていたりとということがよく起こります。あるいはバスの廃線、林の伐採、崖崩れ、台風被害などもあります。またその年の昆虫の発生状況も変化し早期予想が困難です。

そこで、おおよその計画は立てますが、具体化する時には、下見などで直近の現地情報を集め、安全や成果などを予想し、場合によっては代替地を探したり、時期を遅らせたりの対策をとります。

一方、イベントの進行は全て別に本職のあるボランティアが行ないますが、その必要人数が他の行事と重なったりして、確保できないことも起き、予定の変更をせざるを得ないこともあります。

計画変更によって起こる問題はいちいち挙げませんが、今はネット社会なので思いもよらない問題になることもあって、混乱を避けるため先の計画の公開を控えることにしております。ご理解ください。